

復興祈念公園における 国営追悼・祈念施設の概要

令和8年1月6日

東北地方整備局 建政部

復興の象徴となる「国営追悼・祈念施設」の概要

- 東日本大震災は広域にわたり甚大な被害が生じた未曾有の大災害
- 国は地方公共団体との連携のもと、被災3県に国営追悼・祈念施設を設置
- 岩手県と宮城県は平成26年度、福島県は平成29年度に閣議決定

設置目的

- ① 東日本大震災による犠牲者への追悼
- ② 震災の記憶と教訓の後世への伝承
- ③ 国内外に向けた復興に対する強い意志の発信

事業内容

地方公共団体が整備する復興祈念公園の中に、
国が中核的施設となる広場等を設置



※事業着手後、国営追悼・祈念施設の事業箇所は、双葉町も含めることになった。

復興の象徴となる「国営追悼・祈念施設」の概要

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の後世への伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、地方公共団体や市民活動団体等と連携

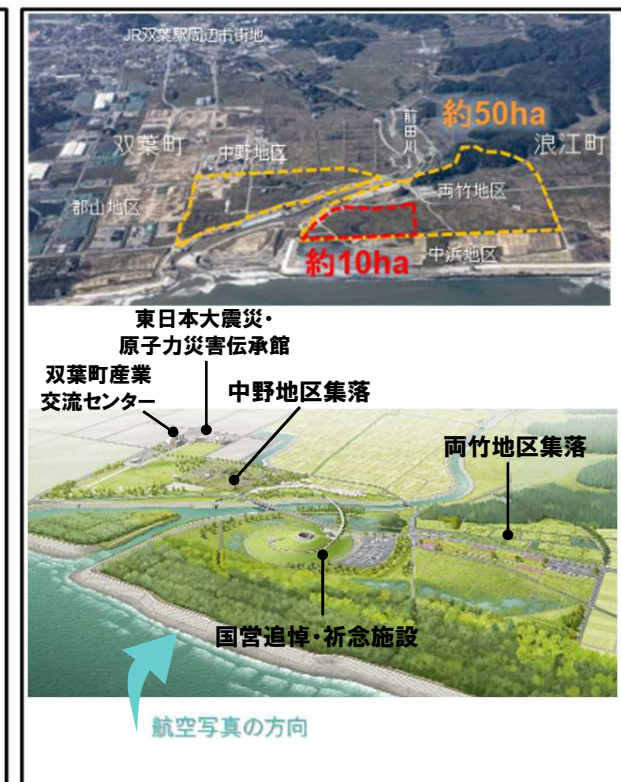
高田松原津波復興祈念公園
(岩手県陸前高田市)
令和3年12月開園 (R1.9一部利用開始)



石巻南浜津波復興祈念公園
(宮城県石巻市)
令和3年3月開園



福島県復興祈念公園
(福島県浪江町・双葉町)
令和8年4月開園予定

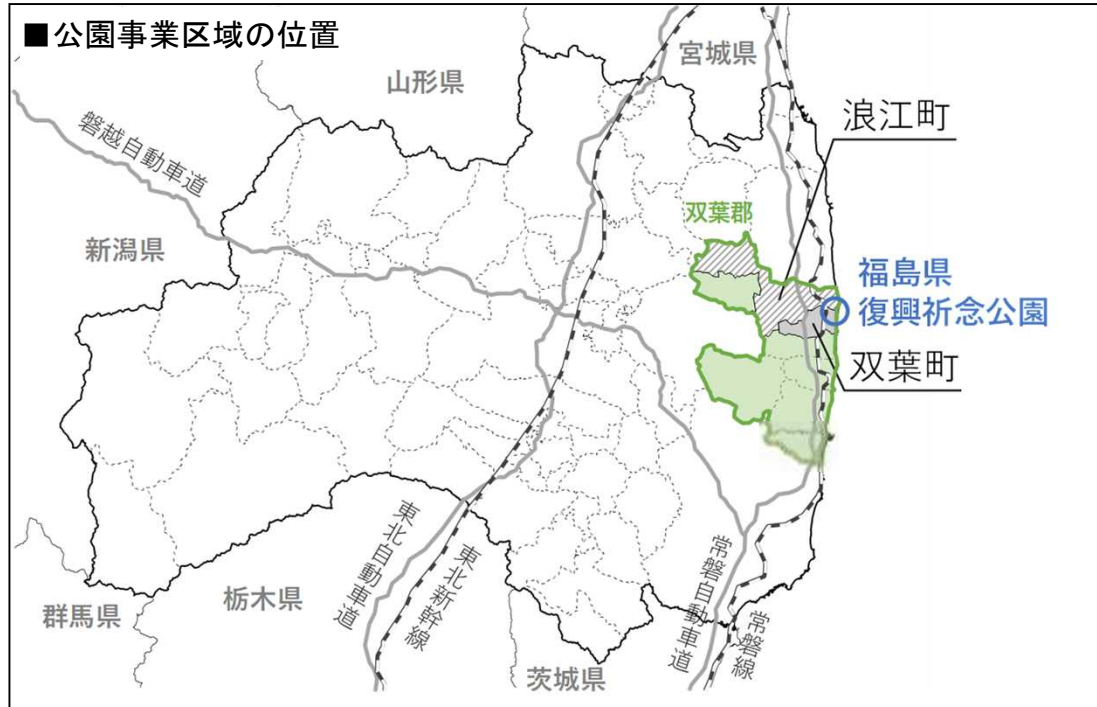


凡例: 復興祈念公園【地方公共団体事業】 国営追悼・祈念施設【国事業】

福島県復興祈念公園の概要

- 東日本大震災により、福島県では、地震や津波による直接的な被害による死者・行方不明者数が合わせて約1,800人、震災関連死とされた死者が約2,300人に上った。
- 双葉町、浪江町は、震災当時の人口に対する地震・津波による死者・行方不明者の割合が福島県の自治体の中でも特に多く、福島県における東日本大震災の被災を俯瞰できる場所となっている。
- 平成29年9月1日付け閣議決定に基づき、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、福島県との連携のもと、国営追悼・祈念施設を設置する。

位置	福島県双葉郡	計画面積	46.4ha
	双葉町、浪江町	全体事業費	約171億円
種別	特殊公園	都市計画決定	平成29年6月



国営追悼・祈念施設 全体鳥瞰イメージパース

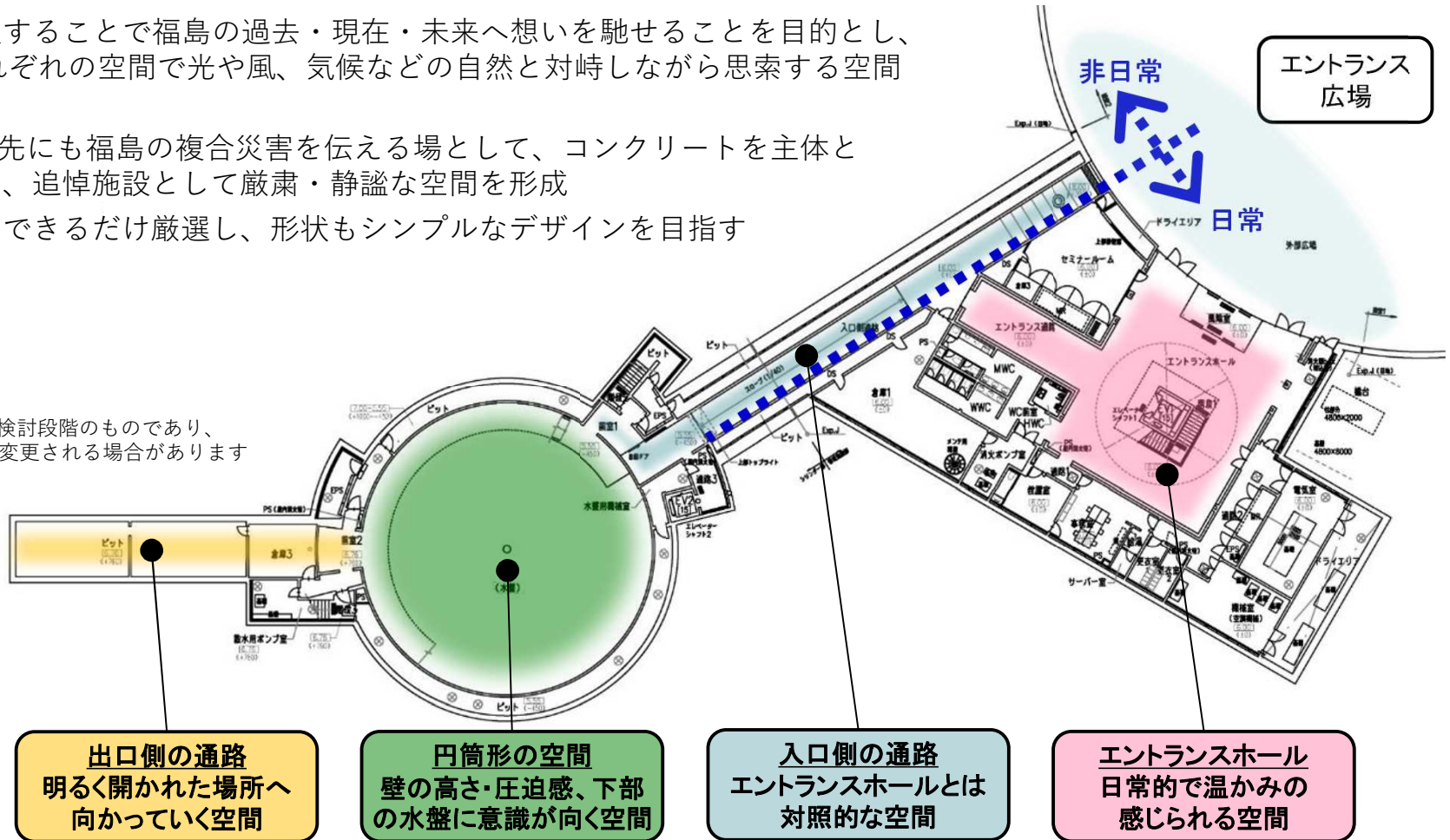
○公園の中核的な施設で、緑が広がるなだらかな丘と、その内部空間で構成。丘の上には献花台があり、公園周辺の震災遺構や復興が進むまちや水田などを望む。丘の内部空間には、心を静め、震災での出来事に思いを馳せる静謐な祈りの空間を設ける。



国営追悼・祈念施設の空間構成

- 各空間に没入することで福島のご過去・現在・未来へ想いを馳せることを目的とし、来訪者がそれぞれの空間で光や風、気候などの自然と対峙しながら思索する空間を形成
- 50年・100年先にも福島のご複合災害を伝える場として、コンクリートを主体とした構造とし、追悼施設として厳粛・静謐な空間を形成
- 素材の種類をできるだけ厳選し、形状もシンプルなデザインを目指す

※イメージパースは検討段階のものであり、完成までに、一部変更される場合があります



トレイルからエントランス広場方向のイメージパース

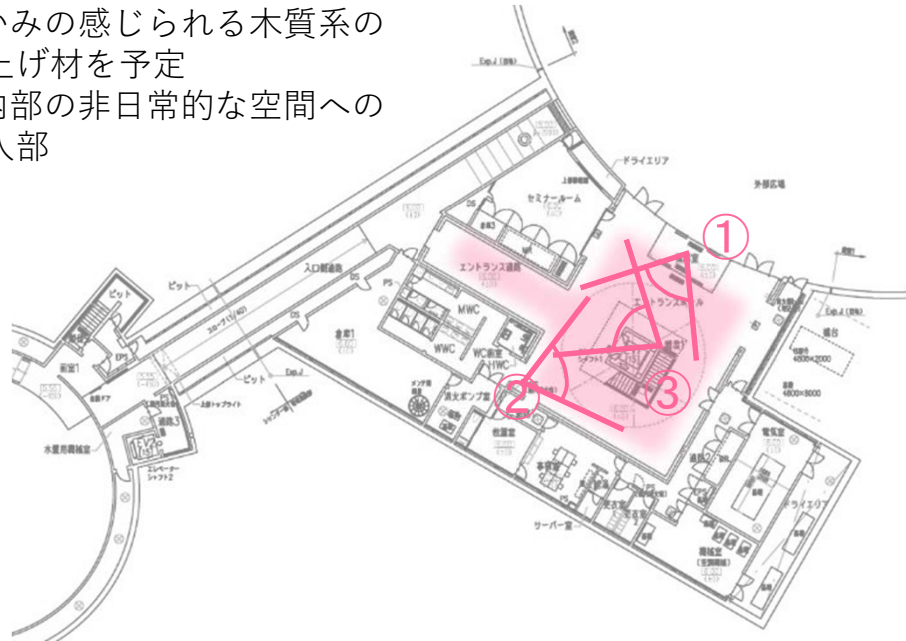
※イメージパースは検討段階のものであり、
完成までに、一部変更される場合があります



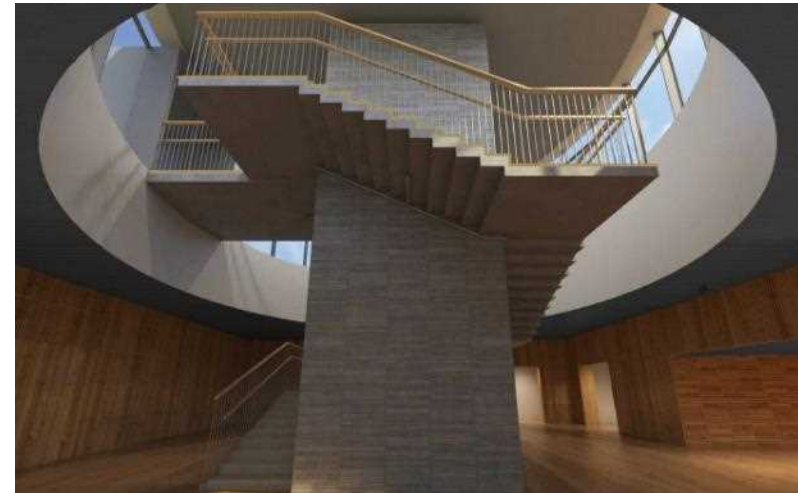
エントランスホール イメージパース

- 温かみの感じられる木質系の仕上げ材を予定
- 丘内部の非日常的な空間への導入部

※イメージパースは検討段階のものであり、完成までに、一部変更される場合があります



①ホール中央の螺旋階段とEVシャフト



②エントランス広場と結節点広場からの上下の2つの動線をつなぐ吹き抜け空間



③エントランス通路（左）・セミナールーム（右）



入口側の通路～円筒形の空間 イメージパース

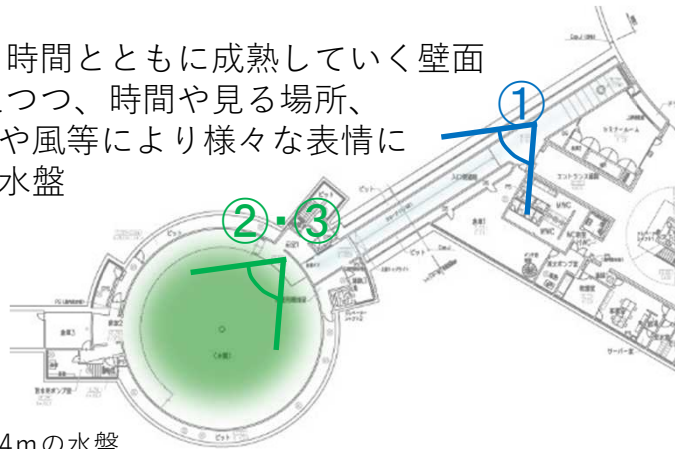
【入口側の通路】

- 球体地形の丘の内部に高い天井があることが感じられる
- 細長く緩やかに下っていく通路
- 暗い空間にトップライトから差し込む自然光に意識が向く空間

※イメージパースは検討段階のものであり、完成までに、一部変更される場合があります

【円筒形の空間】

- 吹き抜けの円筒
- 圧倒的な高さで、時間とともに成熟していく壁面
- 静かに水をたたえつつ、時間や見る場所、また上空の空の色や風等により様々な表情に変化する底一面の水盤

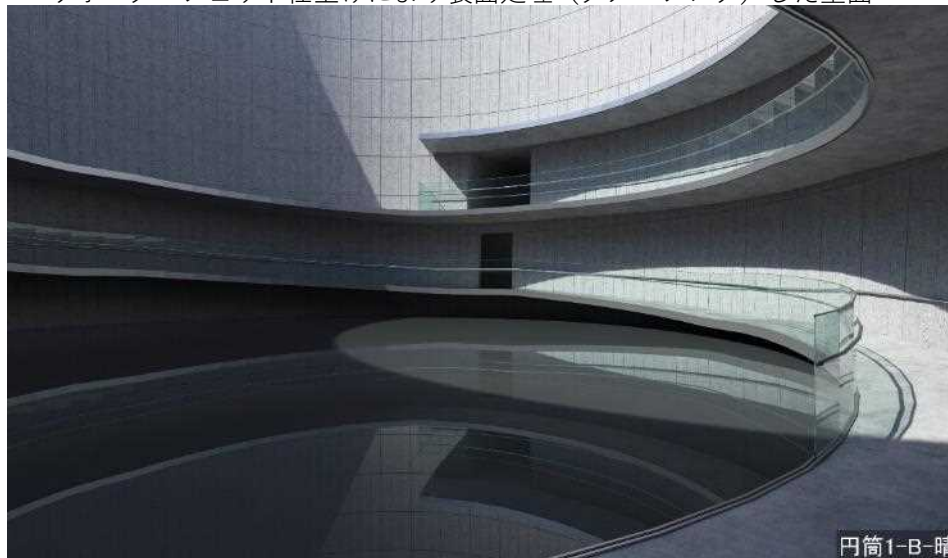


①入口側の通路：自然光が差し込むトップライト（正面）



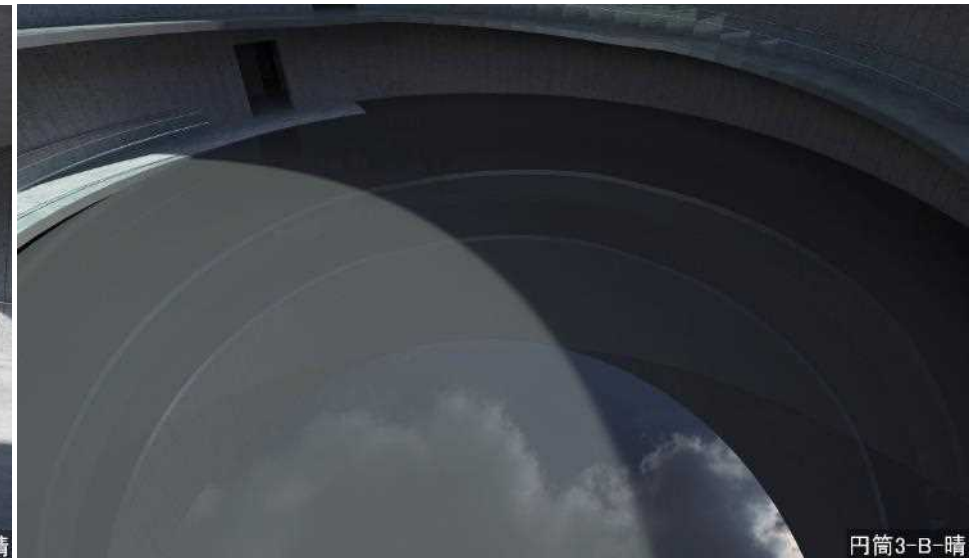
入口側通路A

②円筒形の空間：直径約24mの水盤
ウォータージェット仕上げにより表面処理（ダメージング）した壁面



円筒1-B-晴

③円筒形の空間：季節や天候により見え方が変化する水面

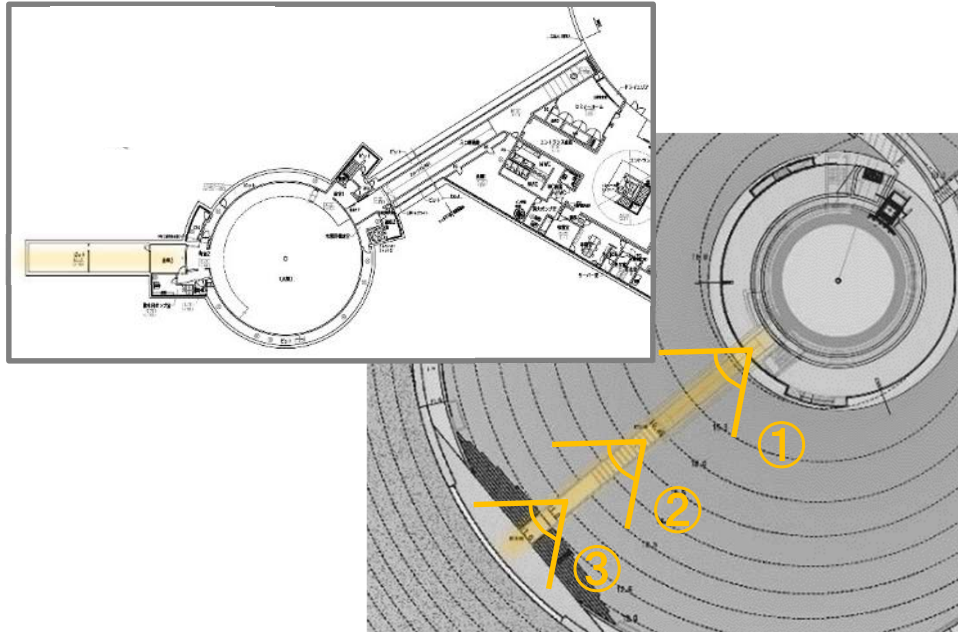


円筒3-B-晴

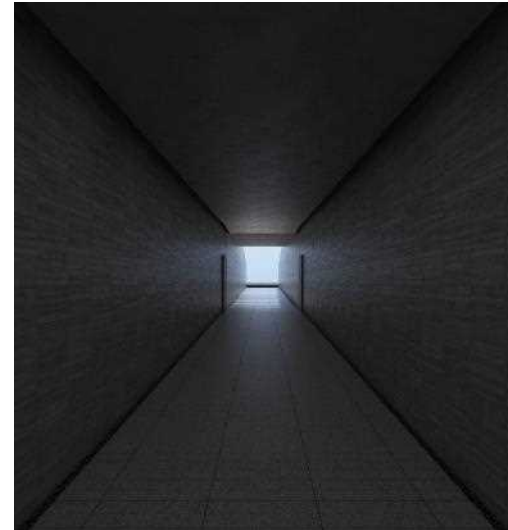
出口側の通路 イメージパース

○屋外へ向かい、徐々に光が差し込み外部に開かれる空間

※イメージパースは検討段階のものであり、
完成までに、一部変更される場合があります



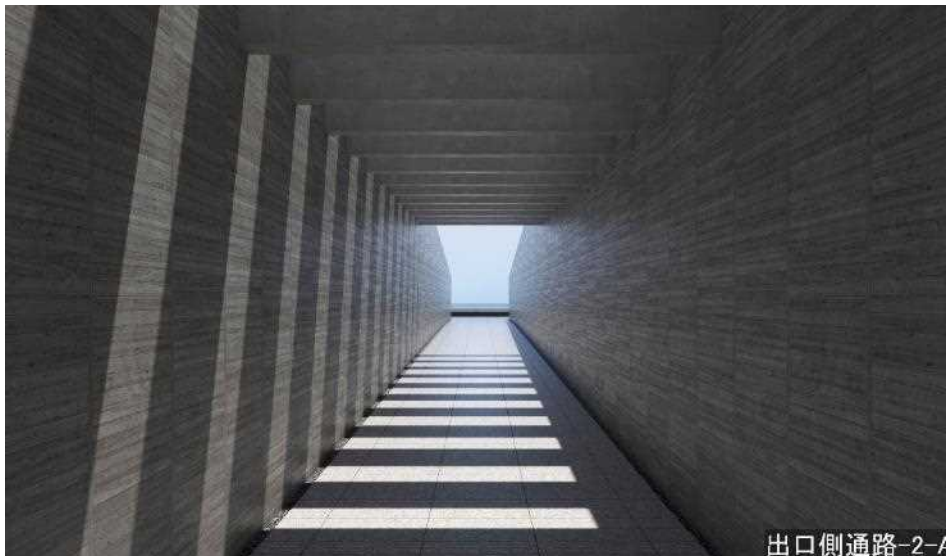
①遠くに見える外部空間



参考：夕暮れ時の照明



②ルーバー天井から徐々に光が差し込む



出口側通路-2-A

③献花広場へつながり海が見える



出口側通路-3-A

献花広場 イメージパース



※イメージパースは検討段階のものであり、
完成までに、一部変更される場合があります



福島 国営追悼・祈念施設整備状況



福島 国営追悼・祈念施設整備状況



令和7年12月10日撮影